

気候情報

2011年3月の日本の天候

- 東北地方と西日本、沖縄・奄美では気温がかなり低かった
- 太平洋側と沖縄・奄美は降水量がかなり少なかった

3月の天気概況

シベリア高気圧の勢力が強く、冬型の気圧配置になる日が多かった。このため、北・東日本日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東日本太平洋側や西日本では晴れの日が多かった。また、沖縄・奄美では寒気や湿った東よりの気流の影響で曇りの日が多かった。気温は、北海道を除き全国的に低く、東北地方や西日本、沖縄・奄美ではかなり低かった。沖縄・奄美では3月としては1946年以降で第2位タイの低温となった。また、南から湿った気流が入りにくかったことなどにより、日本付近で低気圧が発達することはほとんどなく、前線の活動も弱かったため、太平洋側や沖縄・奄美では降水量がかなり少なかった。北日本太平洋側では3月としては1946年以降で第1位の少雨、沖縄・奄美では第2位の少雨となった。

上旬：はじめと中頃に低気圧が日本付近を通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。日本海側は曇りや雪または雨の日が多く、太平洋側は晴れの日が多かった。沖縄・奄美は天気は数日の周期で変わった。

中旬：中頃と終わりに気圧の谷が日本付近を通過したほか、本州付近は冬型の気圧配置もしくは移動性高気圧に覆われた。北日本日本海側は曇りや雪の日が多く、東・西日本日本海側は天気は数日の周期で変わった。一方、太平洋側は晴れの日が多かった。沖縄・奄美は寒気や湿った東よりの気流の影響で曇りの日が多かった。

下旬：前半は前線や上空に寒気を伴った気圧の谷の影響で東日本では曇りや雨または雪の日が多かったが、北日本と西日本では気圧の谷の影響は小さく、晴れの日が多かった。後半は一時的に冬型の気圧配置となり、日本海側で雪や雨となる日もあったが、移動性高気圧に覆われ晴れる日が多かった。沖縄・奄美は寒気や湿った東よりの気流の影響で旬をとおして曇りの日が多かった。

3月の気候統計

月平均気温：東北地方、西日本および沖縄・奄美でかなり低く、東日本で低かった。東北地方以西では、平年を1℃以上下回ったところが多く、与那国島、西

表島（以上、沖縄県）では、3月の月平均気温の最低値を更新した。一方、北海道地方では高かった。

月降水量：北日本から西日本にかけての太平洋側と沖縄・奄美でかなり少なく、西日本日本海側で少なかった。これらの地域では平年の40%を下回ったところがあり、函館（北海道）、大分、久米島（沖縄県）など、7地点で3月の月降水量の最小値を更新した。北日本から東日本にかけての日本海側では平年並だった。

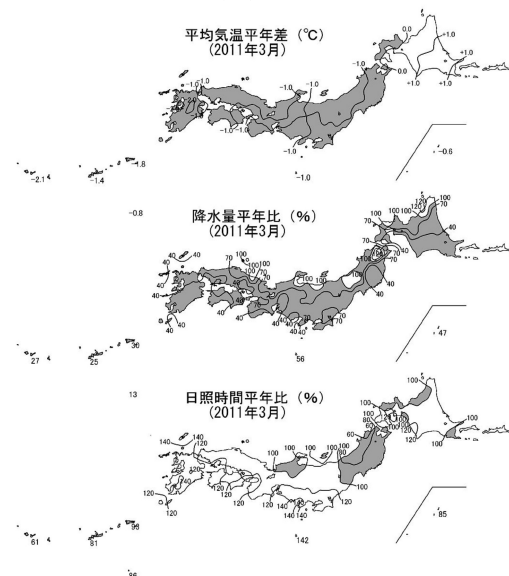
月間日照時間：東日本太平洋側でかなり多く、西日本で多かった。一方、北日本日本海側と沖縄・奄美では少なく、北日本太平洋側と東日本日本海側では平年並だった。なお、浦河（北海道）では、3月の月間日照時間の最大値を更新した。

（気象庁観測部統計室）

3月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温低い方から（℃）
与那国島 17.9 西表島 18.0
- ・月降水量少ない方から（mm）
函館 16.5 大分 26.0 久米島 44.5
など7地点
- ・月間日照時間多い方から（時間）
浦河 252.9
- ・降雪の深さ月合計多い方から（cm）
寿都 111 酒田 76

2011年3月の平年差（比）図



注）陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す。